

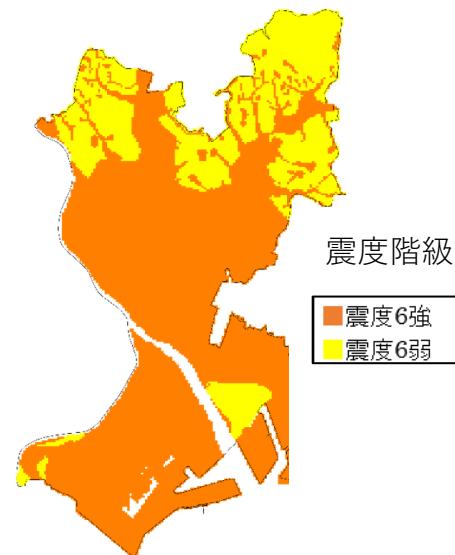
## 1.目的

能登半島地震をはじめ巨大地震が頻発し、災害への警戒感が高まっていることを受け、国や県、近隣自治体、ライフライン事業者、協定事業者などの関係機関をはじめ、地域防災の要となる消防団や自主防災組織との更なる連携強化を図る。

**特に北部地域では、台地に沿って点在する土砂災害警戒区域での崖崩れ、住宅地での家屋倒壊や延焼火災などが想定される**ため、訓練を通じて、多くの市民に「自助」「共助」の具体的な行動を促し、更なる防災意識の高揚を図る。

## 2.訓練想定

- 東京湾直下を震源域とするマグニチュード7.3の地震が発生し、市内で震度6強を観測した。
- 市内全域で**延焼火災や建物倒壊等が多数発生**し、家屋等に閉じ込められて救助を必要とする人や、怪我人が多数出ている。
- **特に北部地域では、土砂災害警戒区域での崖崩れが多数発生しており、生き埋めになっている住民がいる。**



## 3.実施日時

令和8年11月8日（日）午前9時30分～12時00分  
 ※松戸市は11/7（土）又は11/14（土）  
 浦安市は11/15（日）実施予定

## 4.訓練会場

東国分中学校（東国分3-5-1）  
 国分川調整池緑地（東国分3丁目）



## 5.実施方針

- (1) 防災関係機関や近隣自治体との更なる連携強化  
 ⇒松戸消防や千葉消防と連携した救助・救出及び消火訓練  
 ⇒自衛隊への災害派遣要請による捜索救助や炊き出し、入浴支援等の訓練
- (2) 市職員による訓練の充実  
 ・応急危険度判定訓練  
 ・保健福祉活動チームによる避難所の巡回  
 ・ドローンによる情報収集（市）  
 ・トイレカーの設置・運用 など
- (3) 地域特性を考慮した実践的な訓練の実施  
 ⇒自衛隊、警察、消防等の防災関係機関の連携による土砂災害からの救助・救出訓練
- (4) 避難所におけるTKB確保訓練の実施  
 ・T（トイレ）、K（キッチン）、B（ベット）に係る協定事業者の参加により避難所環境の早期確保を図る訓練



## 6.会場レイアウト

